

令和3年度 施政方針

栃木市長 大川 秀子

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、感染防止とともに、新しい生活様式に沿った対応を心掛けてくださる市民の皆様、厚く御礼を申し上げます。また、感染拡大防止のために御尽力されている、医療従事者を始めとする関係者の皆様に対しまして、心より感謝を申し上げる次第であります。

令和3年度におきましては、昨年度に引き続き、市民の皆様の安全・安心と地域経済を支えるための事業を重点的に実施していくとともに、感染症の収束を見据え、次世代に夢と希望を繋げるよう、産業団地の造成や地域産業の振興、子育て支援策についても積極的に取り組んでまいります。さらに、合併後10年を経て、中長期的な視点に立った行政経営がより一層重要となっております。そのため、新年度の組織の見直しにより、地域の特色を生かしたまちづくりを推進する地域振興部や治水対策室、グローバル教育推進室の新設などを実施するとともに、行財政改革の推進により財政健全化を図ってまいります。



令和3年度の主な事業

第1 かけがえのない自然に優しいまちづくり

管路耐震化事業費 (620,730 千円)

耐用年数を経過した塩化ビニルの水道管等について、耐震性があるものに布設替えを行います。

第2 心地よく暮らせるまちづくり

ふれあいバス運行事業費 (328,355 千円)

更なる利便性向上のため、佐野市と連携して、佐野プレミアム・アウトレット及び佐野新都市バスターミナル方面への乗り入れを開始いたします。

定住促進支援事業費 (128,782 千円)

これまでの各種補助制度に加え、観光交流館「蔵なび」に移住定住の相談窓口を設けるとともに、移住定住支援コーディネーターを配置し、情報発信と相談体制を強化します。



移住希望者オンライン交流会

斎場再整備事業費 (72,424 千円)

現斎場の老朽化に対応するため、新たな斎場の整備を行うもので、実施設計と建設モニタリングを実施します。

スマートIC整備事業費 (300,613 千円)

東北自動車道の都賀西方パーキングエリアにスマートインターチェンジを設置するため、東北自動車道へのアクセス道路の改良工事を実施します。

第3 安全安心で快適に暮らせるまちづくり

雨水・浸水対策事業費 (106,100 千円)

台風や集中豪雨による河川の浸水被害を軽減するため、護岸や調整池整備に向けて測量・設計業務を実施します。

田んぼダム整備事業費 (10,000 千円)

田んぼが持つ貯水機能を利用して下流域の洪水被害を軽減するため、農家の皆様の協力を得ながら、排水調整柵の設置拡大を図ります。



田んぼダムの排水調整柵

公共下水道雨水渠整備事業費 (438,000 千円)

永野川左岸の幹線水路等に樋門（ひもん）や調整池を整備するため、基本設計や整備工事を実施します。

防災重点農業用ため池整備事業費 (30,481 千円)

防災重点農業用ため池の決壊による水害などを防ぐための防災工事に向け、ため池の調査業務を実施します。

部屋南部地区指定緊急避難場所整備事業費 (142,581 千円)

藤岡地域部屋南部地区に、洪水などによる緊急時の避難場所及び水防拠点として、公園を整備します。

第4 健康で生きがいを持てるまちづくり

産前産後ヘルパー派遣事業費 (2,927 千円)

妊産婦等の産前産後の生活を支援するため、多胎妊産婦ピアサポート及び産前産後ヘルパーの派遣を実施します。

認知症にやさしいまちづくり事業費 (2,000 千円)

認知症の方及びその家族が安心して暮らせるように、認知症の方が外出先で保護された場合に情報が共有できるサービスの構築や徘徊等により他人に与えた損害を賠償するための保険料を補助します。



認知症サポーター養成講座

学童保育施設整備事業費 (102,509 千円)

学童保育施設の拡充を行うため、学校内の余裕教室の確保を進めるとともに、しるのうち第1・第2学童の保育施設を新築します。

子どもの居場所運営事業費 (17,928 千円)

ネグレクトなどの要支援児童の健全な成長と自立支援、児童虐待の未然防止を図るため、市内2カ所で子どもの居場所を運営いたします。

第5 健やかに人を育み学び続けられるまちづくり

小中学校コンピュータ管理費 (336,846 千円)

GIGA スクール構想のため導入した端末等を活用し、語学教育を超えたグローバル教育の推進と新しい生活様式に対応した教育環境の充実を図るためのシステム管理及び運用支援を実施します。

(仮称)文化芸術館開館準備事業費 (栃木市立美術館) (137,794 千円)

令和4年度の開館に向け、開館記念展の準備及び開館後の適切な施設管理のための空調モニタリングによる環境調査を実施します。



栃木市立美術館と文学館

(仮称)文学館開館準備事業費 (栃木市立文学館) (30,920 千円)

令和4年度の開館に向け、博物館登録のための事前協議や資料の整理・調査などを実施します。

第77回国民体育大会開催関係事業費 (299,591 千円)

令和4年に本県で開催されるいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会に向けて「ポート」、「カヌースプリント」、「ハンドボール」、「なぎなた」の4競技について、本市でリハーサル大会を開催します。



第6 いきいきと働き賑わいのあるまちづくり

中小企業緊急景気対策特別資金融資預託金 (1,054,000 千円)

コロナ禍における中小企業の資金繰りを支援するため、取扱金融機関へ融資の原資を預託します。

中小企業緊急資金利子補助金 (48,707 千円)

コロナ禍において業況が悪化している中小企業を支援するため本市融資制度などの利用に伴う利子を補助します。

観光交流館管理運営費 (11,359 千円)

栃木駅北口で観光交流館「蔵なび」を運営し、観光施設や特産品の案内、市の魅力についての情報発信を行います。



観光交流館「蔵なび」

栃木インター西産業団地造成事業費 (902,210 千円)

恵まれた立地を活かして新たな産業・物流拠点を整備するため、用地取得や実施設計、造成工事などを実施します。

平川土地区画整理事業費 (532,463 千円)

「平川地区」において、産業系の土地利用のため、土地区画整理事業を実施するもので、用地取得や実施設計・測量などを行います。

第7 共に考え共に築き上げるまちづくり

ふるさと応援寄附事業費 (260,186 千円)

市の特産品などを返礼品とすることで、寄附者に謝意を表すとともに、本市の魅力を広くPRし、地域産業の振興を図ります。

RPA・AI整備事業費 (5,771 千円)

RPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）やAI技術を活用し、データの転記作業やシステム入力の自動化を進め、職員の時間外削減や市民サービスの向上を図ります。